



東京都立多摩桜の丘学園学校だより

さくらちゃんNews



令和8年7月15日発行 第5号

多摩市聖ヶ丘1-17-1

電話 042-374-8111

発行者 校長 西田 良児

一学期を振り返って

校長 西田 良児

一学期も、間もなく終わりを迎えようとしています。毎日の活動の中で経験を積み重ねながら元気と笑顔あふれる姿を見せてくれました。教室やグラウンドには、友達とともに過ごす楽しさや成長の喜びが広がっています。こうして充実した日々を積み重ねることができ、無事に一学期を締めくくることができそうです。保護者の皆様の温かな御理解と御協力に支えられてまいりました。心より感謝申し上げます。

子供たちは日々の学校生活の中で、ここまで小さな成長を着実に積み重ねてきました。例えば、入学当初の4月には、担任の先生から離れることができなかった新入生の児童が、生活にも慣れ、友達や他の先生と手をつなぎ一緒に活動を行えるようになりました。また、自分の気持ちを落ち着かせる方法を少しずつ身に付けたり、友達の頑張りに拍手を送ったりする姿もありました。確かな成長の証です。中学生では、苦手な活動に固まっていた生徒が、周囲の友達に励まされながら「もう少し頑張ってみる」と最後まで取り組もうとする様子も見られました。高等部の生徒たちは、それぞれの実習先で自分の役割に向き合い、真剣に取り組んできました。慣れない環境の中でも、あいさつや仕事を一つ一つ丁寧に行い、大きな成長と自信を見せてくれました。

こうした一つ一つは小さく見えるかもしれませんが、子供たち一人一人にとっては大きな一歩であり、かけがえのない前進です。それには、御家庭での見守りや励ましがあります。学校と家庭がつながりながら子供たちを支えていることを改めて実感しております。

まもなく夏休みを迎えます。御家庭での経験や体験が、子供たちの新たな学びにつながることを願っております。二学期には、さらに成長した姿に出会えることを楽しみにしております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

★授業参観アンケートについて

教務主任 福島 紀子

6月授業参観では、たくさんの保護者の皆様に御来校をいただき、ありがとうございました。参観後のアンケートでは、保護者の皆様からお子様の成長や学校での様子を見ることで安心したことや、授業の工夫や教職員の関わりについて、多くの温かい御意見をいただきました。一方で、指導の工夫や授業内容、参観場所の見やすさ、校内案内、日程・時間設定などについて改善を望む御意見もいただきました。今後は、校内図やお便りの情報発信、個別課題や指導の工夫、参観時の小グループ活動について改善をすすめてまいります。